



国立大学法人
京都工芸繊維大学

村上 正紀 (むらかみ・まさのり)

京都大学名誉教授
立命館大学 特別研究フェロー*
サムコ株式会社 社外取締役



京都府京都市出身。京都大学工学研究科冶金学専攻博士課程修了。
米国カリフォルニア大学、IBMワトソン研究所を経て、帰国。

情報社会の高度化はコンピュータにより支えられ、その性能は主に半導体デバイスの微細化技術により向上。デバイスは半導体、金属、誘電体、絶縁体など多様な材料で構成されているが、コンピュータ開発当初の材料研究は、デバイスの要となるSiや化合物半導体、超伝導体の高品質化が主力。

デバイスの微細化が進むにつれて、外部から半導体などへ電流を輸送・注入する役目を担う金属材料がデバイス性能に大きく影響することに逸早く着眼し、数多くの金属電極材料を創成。

この先駆的な研究により紫綬褒章、日本金属学会賞をはじめ多数の賞を受け、内閣府総合科学技術会議などで多くの要職を歴任。

※令和四年4月～

Program

16:10 開会挨拶

京都工芸繊維大学 森迫 清貴 学長
サムコ株式会社 辻 理 氏

16:25 公開記念講義

「材料研究の面白さ」
村上 正紀

ねらい:

材料研究は面白い!と実感しながら博士後期課程で学び、社会の高度化に貢献して頂ける活気ある若い研究者が一人でも多く育っていくことを願う。

17:25 質疑応答

17:40 閉会

令和四年

4月7日(木)

16:10 - 17:40

京都工芸繊維大学

松ヶ崎キャンパス
15号館 1階 N105

対面(定員20名)・Web開催 | 参加無料

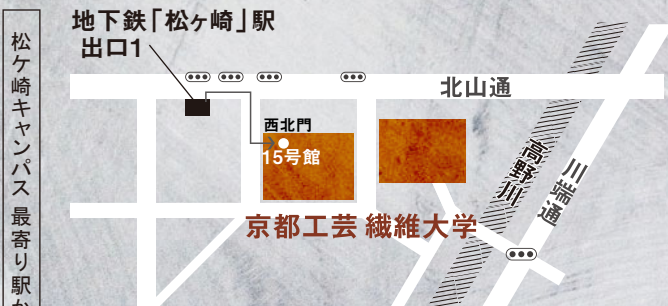
サムコ辻理寄附講座開講を記念して、大学院講義「先端材料科学論／先端材料科学特論」の第1回目を一般の方にも公開(Webと対面)して行います。(無料)

聴講をご希望の方は下記の参加申込専用フォームよりお申し込みください。

- ・対面受講には定員(20名)を設けております。
- ・第2回目以降は本学学生のみのお受講となります。

参加申込専用フォーム
<https://www.kit.ac.jp/entry/view/index.php?id=206671>

申込締切:3月31日(木)



▶ 地下鉄烏丸線「松ヶ崎」駅より徒歩5分
出口1から東(右)へ進み、3つ目の信号を南へ100m)

▶ 「松ヶ崎」駅へはJR・近鉄「京都」駅から地下鉄烏丸線「国際会館行き」に乗り換え約18分。
※地下鉄烏丸線は、阪急「烏丸」駅からも乗り換え可能です。

【お問合せ先】
京都工芸繊維大学 研究推進・産学連携課
sangaku@jim.kit.ac.jp / tel:075-724-7035

グローバル企業人ドクター知命飛翔京都プロジェクト

サムコ辻理 寄附講座
開講記念講義

寄附講座開設の目的と経過



令和三年 11月11日 共同記者会見 京都経済センター

このたび、サムコ株式会社(京都市伏見区)会長辻理氏の支援協力を得て、「企業人ドクター」というキーワードのもと、約4年半にわたる構想「グローバル企業人ドクター知命飛翔京都プロジェクト」を新たな産学協働のプロジェクトとして実施する運びとなりました。

令和3年9月、辻氏と本学森迫学長との懇談において、人生100年時代を迎え、研究開発のリーダーとして活躍が期待できる人材育成の必要性との方策について、企業経営者、アカデミア双方の立場から意見交換を行いました。▽日本の先端ものづくり企業において、「国際競争力」「人材育成」の強化は、急務となっていること、▽そのために企業の中核人材となる40歳代半ばの研究者を鍛え、新たなステージに飛翔させ、引き続き企業において活躍すること、▽日本企業の現状に鑑みて、そうした有能な人

材の育成は、企業の国際競争力を強靱にし、産業界の科学力向上を期待することができること、▽その方策として、学位博士号を取得するという過程を通じて実現させること、▽本学の理念にある「京都発の先鋭的な国際的工科系大学 KYOTO Institute of Technology として、これまでにない新しい発想や価値の創造を実現」すること、

以上の点で意見の一致を見るに至りました。

本学としては、これらは、日本の技術力向上にまさに的を射た視点であり、そうした人材が企業の後進の指導を行うことによって、更に「企業の人材育成の好循環」を生み出すことが期待できると考えており、辻氏からの全面的な資金提供という、極めてありがたいお申し出を最大限活用して参ります。

